

平成17年度 京丹後市の基本目標と予算規模について

はじめに

市民の皆様には、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、丹後6町が合併して「京丹後市」が誕生してから、1年余りが経ちましたが、本市の行財政を取り巻く状況には大変厳しいものがあります。

しかしながら、厳しいからこそ、市が何をしているのかを市民の皆様にお知らせして、多くの市民の皆様にご参加いただき、協働して市政を運営していくことが欠かせません。そのため、市が何をしているのかを市民の皆様にお知らせするための情報提供のひとつとして、平成17年度の予算に計上した京丹後市の仕事をわかりやすく説明する「わかりやすいことしの予算」をつくることとしました。

市の予算というのは本来、市民の皆様のものであり、市は、予算の内容をわかりやすく説明する責任があります。そこでこの冊子では、法律で定める通常の予算書では伝わらない予算の具体的な内容を図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけました。

また、京丹後市の財政状況をグラフなどで示し、市の台所事情を少しでも理解していただけるようにしています。

ぜひ、この冊子を手に取り、皆様の税金がどのように使われているのかをお確かめください。

そして、疑問や市の課題を発見して議論する一助としたり、行政と市民の皆様が力をあわせて、よりよいまちづくりをすすめるきっかけとなれば幸いです。

平成17年5月

京丹後市長 中山 泰

●基本目標

『ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち』という新市建設計画の将来像を実現するため、3つの基本的な考え方（基本理念）に沿って、活力と魅力あるまちづくりを推進します。財政状況が厳しい中でも夢のある新しい取り組みや、台風23号の教訓を生かした災害に強いまちづくりを積極的に推進します。

●基本理念

- 豊かな自然や歴史・文化の恵みを住民のくらしに積極的に活かしていきます
- ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします
- ひとが育ち、未来に飛躍するにぎわいのあるまちづくりを進めます

●会計別予算規模

会 計 名	予 算 額	対前年比
一 般 会 計	289億8,000万円	△ 18.6%
国民健康保険事業特別会計	59億3,200万円	△ 8.0%
国民健康保険直営診療所事業特別会計	4億4,300万円	△ 12.4%
老人保健事業特別会計	71億8,000万円	△ 11.2%
介護保険事業特別会計	39億6,500万円	△ 7.3%
介護サービス事業特別会計	6億9,500万円	△ 11.2%
簡易水道事業特別会計	11億2,000万円	△ 11.7%
集落排水事業特別会計	3億6,600万円	△ 11.6%
公共下水道事業特別会計	28億2,800万円	△ 43.3%
浄化槽整備事業特別会計	5,640万円	△ 34.1%
土地取得事業特別会計	200万円	△ 83.3%
工業用地造成事業特別会計	3,420万円	△ 0.9%
宅地造成事業特別会計	9,250万円	△ 7.5%
峰山財産区特別会計	710万円	△ 11.3%
五箇財産区特別会計	260万円	△ 3.7%
水道事業会計	9億5,369万円	△ 30.8%
病院事業会計	67億9,558万円	△ 1.4%
総 計	594億5,307万円	△ 16.1%

一般会計とは

市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や公園の整備など、さまざまな分野の事業を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

特別会計とは

国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。

公営企業会計とは

地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うため設ける会計です。

総額で114億3,590万円の減、増減率16.1%の大幅減となっています。これは、前年度の予算に旧町分（※）が含まれていることもありますが、旧町分を除いても43億5,266万円の減、増減率6.8%の減となっていて、住民サービスに配慮しながらできるだけスリム化に努めた予算としています。

※旧町分…平成16年4月1日に合併したため、6町（一部事務組合も含みます）の平成15年度の決算は、平成16年3月31日で打ち切りました。通常であれば5月末まで、収入や支払いができる期間がありますので、各町で支払いや収入ができなかった平成15年度の経費が新市に引き継がれています。